

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月16日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|---|
| 事業所番号 | 4690100518 |
| 法人名 | 有限会社 友星メディカル |
| 事業所名 | グループホーム さくらが丘 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘4丁目1番7号 (電話) 099-265-3700 |
| 自己評価作成日 | 平成27年11月11日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|--------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉21かごしま |
| 所在地 | 鹿児島市真砂町54番15号 |
| 訪問調査日 | 平成28年1月9日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・職員はいつも笑顔を心がけ、一人ひとりの思いに寄り添い、家庭的な雰囲気の中でいつまでもその方らしく生活できるよう努めています。生きがい作りとして裁縫や手作りの作品を職員と一緒に楽しみ文化祭出展、参加も楽しみの一つとなっています。

・ホーム庭の畑やプランターには季節の花々や野菜を植え、共に育てながら身近に四季を感じていただけるような環境作りに努めています。桜の花見やバラ園見学など四季を感じることが出来るような外出支援を計画しています。

・近隣にある託児所とのふれあいや地域の夏祭りや文化祭への出展、参加を通し地域に根ざした事業所を心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○桜ヶ丘の中央に位置し近隣には大学病院やスーパー、公園があり事業所は病院とクリニックの間に設置され託児所も近隣にある為、幼児の優しい声がかだますぬくもりの環境にある。町内会に加入し、桜ヶ丘文化祭への出展や地域の運動会への参加等、地域交流を図っている。また、地域行事や季節行事への外出が多く出来るよう法人のマイクロバスやリフト車を活用して、家族の協力をもらいながら行っている。

○パーソン・センタード・ケアの考えに基づいた本人本位のケアプランとなるようセンター方式を用い、情報の共有化を図りながら月1回のアセスメントとケアカンファレンスやモニタリングにてケアの課題について意見交換を行い、必要に応じてかかりつけ医や主治医からの意見や指導を頂き、各関係者によるサービス担当者にてチーム一体となって現状に即したサービスの提供が出来るよう取り組んでいる。常に現状のサービス内容に対し、満足することなく高いケア目標を掲げ、スキルアップ研修や法人・施設内の勉強会を生かしながら、レベルアップに努めている。

○運営推進会議での多くの家族参加による意見交換や薬剤師による居宅管理指導等、充実した会議が展開されている。災害訓練についても、鹿児島市の防災計画に基づき総合的な自然災害に対する訓練を地域住民の参加のもと実践されており、施設安全に対する意識の高さがうかがえる。

○虐待防止や身体拘束についての勉強会を月毎に交互に開催し、認知症高齢者に対するケアについて職業倫理を遵守した接遇・支援方法を学び、ミーティングやモニタリング、フィードバックを繰り返す事で、事業所理念である「優しさ」と「真心」、「幸せ」と「笑顔」のあるサービスが実践出来るよう取り組んでいる。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を毎朝、唱和し実践できるよう意識づけを行ない実践に繋げるようにしている。 | 地域密着型のサービスとしての理念を掲げて、理念に沿った事業所の年間目標も作成してサービスの質向上に努めている。理念は掲示して毎朝唱和し、その意義の理解と意識づけに取り組んでいる。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域との交流を重視し資源回収への協力や町内会への加入、地域の行事（桜ヶ丘文化祭、夏祭り、地域の運動会等）へ入居者と一緒に積極的に参加している。 | 町内会に加入し、桜ヶ丘文化祭への出展やふるさと祭り、地域の運動会への参加、資源回収や清掃活動等、地域社会の一員として日常的に交流を図っている。ボランティアグループや小学生、近隣の託児所の幼児とのふれあいのほか、知人や友人の面会も多い。地域交流センターでの地域住民との語らいの場の提供、近隣住民からの野菜の差し入れ等地域との関係性が非常に深い。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | スーパーへの買い物や地域での行事への参加の際に、一緒に楽しむことで地域の方々に認知症の方への理解を深めて頂いている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 4 | 3 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>概ね2ヶ月に一回、運営推進会議を開催しご家族や長寿あんしん相談センター職員、消防分遣隊、地域住民代表等が参加しホームでの活動報告、取り組み状況を中心にさまざまな話し合いを行ない意見を頂いている。</p> | <p>行政、消防分遣隊、地域住民代表、民生委員、町内会長、薬剤師等、多種多様な委員の参加を得て2ヶ月に1回開催されている。毎回家族が10名以上も参加されており、事業所への関心やサービス向上への期待が高いことが伺える。行政や消防関係者からの災害対策に関する説明等をはじめとして、近隣の基準薬局からの薬剤師による居宅管理指導もあり、有意義な会となっている。サービス状況や外部評価の報告もなされ、職員は内容を共有して業務改善に活かしている。</p> | |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p> | <p>市役所を訪問した際は、グループホームたよりを持参し運営や取り組みを伝える機会づくりを心がけている。集団指導研修に参加し運営のあり方などを学んでいる。</p> | <p>市の担当者には運営推進会議に参加頂くとともに、介護保険申請、サービス・運営に関する相談等日頃から連携を密にしている。集団指導や実地指導を通じて、サービス支援の向上を図り、協力関係の構築に努めている。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>身体拘束をしないグループホームを目指し全職員が共通認識を持ってケアに取り組めるよう身体拘束廃止マニュアルに添って勉強会を行なっている。玄関は鈴やセンサーを置き安全を確保した上で施錠しない取り組みを行なっている。</p> | <p>身体拘束廃止マニュアルは整備され、虐待防止や身体拘束について勉強会を実施して共有を図っている。全職員が言葉による行動制限や玄関の施錠を含めた身体拘束をしないケアについて正しく理解している。事務所内に身体拘束禁止規定や虐待行為についての掲示があり、職業倫理に関する意識付けも行っている。玄関やトイレには鈴やセンサーを使用して安全対策を図り、逃避行動や行動障害のある利用者とはいっしょに散歩したり、地域の方々とも協力体制を築いて支えあいながら対応している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 二ヶ月に一度、職員会議で高齢者虐待防止法を勉強し理解の浸透や対応方法について周知徹底できるよう全職員取り組んでいる。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。 | 管理者や職員は外部の研修に参加し職員会議で研修報告を行い、全職員が成年後見制度について理解が深まるよう努力している。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 入居契約前は利用者本人やご家族と話をし不安や疑問、思いを伺い、重要事項説明書に基づき十分な時間を取り説明している。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 利用者や家族等が意見や要望を気軽に伝えられるような雰囲気作りを心がけている。また、その意見をミーティングやカンファレンスで話し合い、運営に反映させている。 | 意見箱の設置や運営推進会議のほか、面会や行事、日常生活支援を通じて利用者・家族から運営に関する意見や要望の把握に努めている。連絡帳も活用してミーティングやカンファレンスで必要な課題について検討して業務改善を図り、サービスの質の向上に努めている。遠方の家族については、ホーム便りや電話連絡で必要な報告をしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 職員が意見や要望を伝えやすいような雰囲気作り、環境作りを心がけている。また、年一回の反省と抱負も参考にし運営に反映できるよう努めている。 | 風通しのよい職場風土作りに努め、ミーティングや運営推進会議等にて職員からの運営に関する意見や提案を得ている。これらを勤務変更や個別相談、スキルアップ研修や資格取得等、様々な相談に活かして業務改善に努め、スムーズな業務遂行や支援が出来るよう管理者と職員は連携して実践に取り組んでいる。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 職員の資格取得に向けた支援を行ない、取得後は本人の意向を重視しながら職場内で活かせる環境作りをしている。休み希望等にも配慮し勤務表を作成している。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修への参加を促し、研修後はミーティング時に報告を行なうことで全職員が共有できるようにしている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者は同業者が集まる管理者会議に参加し、交流・意見交換を行なっている。また、他グループホームへの訪問や交流が図れる機会作りを行なっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービスを開始する前には直接、本人との面談を行ない、その方の不安や思いを受け止め安心した生活が送れるよう努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 家族が求めていることを理解し、どのような対応ができるか、事前に話し合っている。サービスを開始する前に、家族の立場に立って、安心・納得いくまで面談、説明を重ねている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 利用者、家族の実情や要望を元にスタッフ間で話し合い、まず必要としている支援を見極めスムーズな対応ができるよう努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 職員はカンファレンスを通して共有ケアを行ない、穏やかな生活が送れるよう努めている。本人を介護される一方の立場に置かず、スタッフの方から感謝の言葉を述べる場面作りを意識してケアに当たっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 病院受診同行や行事等に参加していただき、家族と共に協力し共に支えていく関係作りを心がけている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 大切にしてきた場所や人との関係が途切れないよう、気軽にホームに立ち寄れる雰囲気作りを心がけている。馴染みの美容院の利用や、外泊、お墓参りなど、家族の協力を得て支援している。 | フェースシートやアセスメントによる生活歴や社会背景等からなじみの人物や場所への関係性が途切れないように配慮している。買い物や病院受診、美容室でのカット、外泊や墓参り等、家族の協力を得ながら可能な支援に努めている。友人・知人の面会も多く、地域交流センターでの地域住民との心のふれあい、近隣住民からの野菜の差し入れ等もあり、事業所自体が地域とのなじみの関係づくりに取り組んでいる。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 一人ひとりの生活歴や性格を把握し、利用者同士、より良い関係作りができるよう努め、個性をうまく活かせるよう配慮している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービスが終了しても、お見舞や面会に行き、これまでの関係が途切れないよう努めている。また、退去後も、いつでも相談を受けられるよう関係を図っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日常での会話を大切にし、日々の生活状況を常に把握し、言葉や仕草、表情から思いや意向を察知している。意思疎通が困難な場合は家族から情報を得るなどし、本人中心のケアを心がけている。 | 法人・施設内での認知症ケアをはじめとした勉強会や研修を通じて認知症高齢者の思いや意向の把握に関するアセスメントや支援方法を学んでいる。意思疎通が困難な場合でも利用者の言葉や表情、また、家族からの情報から本人本位のサービス提供が出来るようパーソン・センタード・ケアの考えに基づき支援に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人らしく暮らしていくことを支援するために、個々の生活歴や馴染みの暮らし方を、本人や家族等と信頼関係を築きながら把握している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの、一日の暮らし方や生活リズムを把握し、職員は利用者を総合的に見つめる目を養い出来る力、わかる力を暮らしの中で発見することに努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人や家族とは日頃の関わりの中で、思いや意見を汲み取り、反映できるようにしている。また、定期的にカンファレンスを行ない、利用者主体の暮らしを計画、作成している。 | 本人・家族の希望や意向とともにかかりつけ医からは身体状況についての意見を頂き、担当職員や各関係者で月1回のアセスメント後にケアカンファレンスを行っている。また、定期的なモニタリングでケア課題について意見交換を行い、サービス内容についてはサービス担当者会議を通じて現状に即した介護計画を作成している。身体状況に応じてケアの見直しも行い、センター方式による利用者中心のサービス提供で本人本位の支援に近づけるようプラン内容の改善に努めている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の実践を漫然と記録するのではなく、事実やケアの気づきを具体的に記入するよう心がけている。職員は記録物に対し常時、目を通し、情報を共有しケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人や家族の状況、その時々ニーズや希望に対して既存のサービスだけではなく、他職種や他事業のサービスを受けられるよう柔軟な対応を行なっている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ミーティングなどで地域資源について話し合い、地域の人や場の力を活かした取り組みが出来るよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>本人や家族の希望や状況に応じた、かかりつけ医となっている。細やかな観察を行ない病気の早期発見、早期治療に努め受診時は付き添い行い日頃の様子や変化を伝えるようにしている。</p> | <p>本人・家族の希望に沿ったかかりつけ医の受診を家族と協力しながら支援している。耳鼻科・歯科・眼科等の他科受診はご家族にお願いし、その他の診療科受診は事業所が対応している。定期受診及びオンコールによるかかりつけ医の受診、協力医療機関との医療連携等密な協力体制を築き、必要な診療情報は看護師と共有して適切な医療を提供出来るように取り組んでいる。業務日誌や病院受診連絡帳等で共有に努め、受診後は家族に毎回詳しく説明している。</p> | |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>協力病院は歩いて行ける距離であり必要に応じて受診している。協力病院看護師に、いつでも相談し助言を受けられる関係作りができており、適切な受診や看護を受けられるよう支援に努めている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院が発生した際、環境が変わったとしても不安やストレスが軽減できるようホームでの生活や情報を具体的に伝えるようにしている。こまめな面会を通し病院関係者との情報交換を行ない早期退院が出来るよう努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>「終末期における看取りの指針」を作成し契約時にホームで出来る事、出来ないことを説明し同意を得て入居して頂いている。入居時だけでなく運営推進会議時も、看取りについて話し合いを行い、意見交換し理解を頂けるよう努めている。</p> | <p>看取りの実績はないものの、重度化や終末期への取り組みは「終末期における看取りの指針」を作成し、契約時または身体状況の変化の都度事業所で対応可能なサービス内容の説明を行い同意を得ている。本人・家族の希望や意向に沿って職員、かかりつけ医を含めた地域の関係者がチームとなり共有して支援に取り組んでいる。運営推進会議での看取りについての意見交換のほか、法人・施設内の勉強会や研修会を通じて必要な支援を学んでいる。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>ミーティング時に勉強会を行ない、心肺蘇生訓練を定期的に職員全員が参加し実践力を身につけている。急変時は協力医療機関のホットラインを利用し対応している。</p> | / | / |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>消防分遣隊協力のもと、昼間・夜間想定にて定期訓練を行なっている。地域の協力体制を築くために民生委員や町内会長等地域の方々に参加をお願いしている。災害に対して非常持ち出し袋を備えている。</p> | <p>年2回消防分遣隊の協力のもと夜間想定も含めた火災・風水害・地震・津波・火山等の総合災害の消防防災訓練を実施している。民生委員や町内会長、天辰病院やマルノ薬局職員等、多数の地域住民の参加があり、非常持ち出し袋の点検も定期的に行っている。火山性地震や降灰、台風による被害等もあり、県内各地の様々な対策に習い、事業所でも安全対策マニュアルを基に全職員が自然災害・非常事態に備えた正しい知識を身につけている。消防設備の統制や必要な備蓄・備品も整備されている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ケアに当たる際は一人ひとりの人格や生活歴を把握、理解しプライドを傷つけないように、さりげない言葉掛けや対応を心がけている。 | 利用者個々の自尊心や尊厳を職業倫理に基づき遵守し、誇りやプライドに配慮した言葉遣いや対応について職員会議やケアカンファレンスで意見交換して業務改善を図っている。また、接遇やプライバシーに関する研修によりサービスの質向上に努め、利用者が自分らしく快適に施設生活が送れるように取り組んでいる。入浴・排泄等、直接、身体に関わる支援では声かけ・支援方法に配慮して不快な思いを感じさせないよう努めている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ゆっくりと話を聞く環境作りに努め、日々の生活の中での会話を大切にしている。本人が思いや希望を表しやすい雰囲気作りを心がけている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりが本来持っているペースや、望んでいるペースに合わせた暮らしの支援を心がけている。その日の体調や様子をみながら臨機応変に対応している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 洋服はなるべく、ご自分で選んでいただき、外出の際だけでなく日頃から身だしなみやおしゃれに気を配れるよう支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 献立は栄養面に配慮しながら、一人ひとりの好みや旬の食材を採りれるようにしている。職員と同じテーブルで会話をしながら食事をしている。下準備や盛り付け、後片付けも出来る範囲で手伝ってもらっている。 | 利用者の希望に沿って家庭菜園の野菜や旬の食材を生かした献立で、職員と一緒に下準備や盛り付けを行い会話をしながら楽しく食事をしている。食事形態や嚥下・食事動作状況、嗜好・アレルギーの把握、食前の口腔体操、ノロウィルスや食中毒の勉強会等、食の安全についても取り組んでいる。食事の際はゆったりと召し上がって頂く為に緩やかな音楽が流れ、時には外食や行事食の提供等も家族と協力しながら行っている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの体調や一日の食事量、水分摂取量を記録することで情報を共有し食事量の少ない方には好みに合わせた食事の提供をしている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 自分で口腔ケアが出来る方は見守り、出来ないところは補い、口腔内の保清保持に努めている。職員は、誤嚥性肺炎予防について理解し口腔ケアに当たっている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 一人ひとりの仕草や表情を察知し、日頃の排泄パターンを把握することで、自然にトイレに行くことが出来るよう努めている。立位困難な方でも排泄希望があれば二人介助にてトイレでの排泄を行なっている。 | 日頃の生活パターンや排泄リズムを把握し、日中のトイレ誘導で排泄の自立支援とオムツの使用軽減に取り組んでいる。失禁者へはプライバシーや自尊心、羞恥心に配慮した声かけや対応に努めている。また、ポータブルトイレの設置や排泄チェック、トイレへの声かけも周囲に気づかれないような自然な対応を心掛けている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 朝食時は牛乳を、食間でヨーグルトをお出しし、軽体操や歩行運動等、身体を動かすことで、できるだけ自然排便が出来るよう日頃から便秘の予防に努めている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | ゆっくりと入浴できるよう、毎日、お湯を沸かしている。入浴をいやがる方には、希望日に入浴できるようにしている。 | 週に2回個浴の支援を基本とし、入浴拒否の利用者には声かけの工夫や入浴日の変更等で入浴を促している。部分浴や足浴、全身清拭や軟膏塗布等、身体状況に応じたサービス提供に努めている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中は、散歩やレクリエーションなど適度な運動を行ない、夜間の安眠に繋げている。入床前はホットミルクなど温かい飲み物を提供している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 内服文献表をファイルし効能や副作用などを職員は把握できるようにしている。受診後は、個別記録に記入し、必ず確認するようにしている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 掃除・調理・盛りつけ・食器洗いなど個々の能力や得意分野について日々の関わりの中から見つけ出しお願している。その際は感謝の言葉を述べ張り合いや喜びのある生活が送れるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>天候が良ければ外気浴を行ない外の空気や景色、気温などを感じていたけよう努めている。コスモス見学、桜の花見、バラ園見学など季節を感じる事が出来るような外出支援を心がけている。買い物やお墓参りなど家族協力のもと出かけられている。</p> | <p>Aコープへの買い物や公園への散歩のほか、花見、コスモス・バラ園の見学、外泊、お墓参り、外食、また、地域の文化祭や運動会への参加等、利用者の希望に沿って家族と協力しながら日常的に外出を支援している。これにより季節の移り変わりや外部の刺激を肌で感じて頂き、日頃のストレス解消を図っている。行事の際は法人からマイクロバスやリフト車の送迎協力があり、安全で快適な環境を提供している。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>金銭管理はホームで行なっているが買い物の際の支払いは自分の財布から支払えるよう支援している。お金の大切さを理解されている方はご家族と相談しながら少額だが、ご自分で管理している。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>希望に応じて電話を掛けたり、遠方の家族には電話で話ができるよう支援している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関や洗面台には季節の花を飾り、壁には入居者手作りの作品や季節を感じられる飾り付けを入居者と一緒に行なっている。常に整理整頓、清潔を心がけ、心地よい空間作りに努めている。 | 2階建ての鉄筋コンクリート造でエレベーター及び非常階段が設置されている。施設内は白を基調とし、多くの木材が使用されぬくもりが感じられる。リビングや廊下は広く、随所に季節や生活感のある飾りや作品が丁寧に置かれている。玄関には防災マップが掲示され安全への意識の高さを感じる。カウンターキッチンからは利用者の様子が確認でき、ソファと畳部屋ではゆったりとくつろげる。外部評価報告や利用者の写真もおかれ面会時に自由に閲覧でき、玄関・トイレの鈴で利用者の動きも把握出来るよう工夫している。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 居間にはソファを置いたり、玄関周りに縁台や椅子を置き個々でゆっくりと過ごせるような環境作りを心がけている。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 家族の写真やアルバム、馴染みのタンスや寝具を持ち込んで頂き、その人らしく、居心地の良い空間作りに努めている。 | 居室はベットと冷暖房が完備され、家族と協力しながらタンスやテレビ、家族の写真や作品等が配置されている。中には入り口にのれんもかけられている。馴染みの私物に囲まれる事で居心地よく過ごせるよう環境づくりを工夫している。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ホーム内を歩行運動される方もいらっしゃるので整理整頓を心がけ導線にも配慮している。車いすの方も自由に移動できるよう自室の家具の配置等にも気を付けている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | スタッフ一人ひとりが地域密着型サービスの理念を共有するために、毎朝朝礼後に理念の唱和を行なっている。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町内会への加入や地域の清掃掃除に取り組んでいる。また夏祭りや運動会、文化祭に入居者の方々と一緒に参加し地域の一員として日常的に交流できるよう努めている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 毎月のグループホームたよりを町内会長や民生委員へ届け、ホームの日頃の様子を知って頂けるよう取り組み、地域住民の方々が気軽に相談が出来るように努めている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に一回、運営推進会議を行い、ご家族や民生委員、長寿支援相談センター、消防の方々に参加をお願いし意見交換を行ないサービスの向上に活かせるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 市役所訪問時はホームたよりを持参し事業所での活動内容や現状を知って頂けるよう取り組んでいる。また運営推進会議に長寿安心相談センターの方の参加をお願いしている。 | | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 2ヶ月に一回、身体拘束廃止マニュアルに添って勉強会を行ない職員全員が身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている | 2ヶ月に一度、高齢者虐待防止法に添って勉強会を行ない、職員全員が周知徹底し、情報交換を行ない事業所内での虐待が見過ごす事がないよう努めている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 外部での権利擁護に関する制度の研修に参加し、職員会議での研修内容を報告し職員全員が学び理解できるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>入居前は必ず、ご本人、ご家族と直接、お会いし不安や思いを伺うことを心がけている。契約時には、十分な時間を持ち説明行なっている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>入居者やご家族の方々が気軽に相談が出来るよう、話しやすい雰囲気作りに努め、職員側からも言葉かけを行ないコミュニケーションを行なっている。また、投函しやすい場所に意見箱を設置する工夫を行なっている。</p> | | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>ミーティングの中で職員からの意見や提案を出す場を設けている。また日頃からコミュニケーションを図るよう心がけ問いかけたり聞き出したりしている。</p> | | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>職員の資格取得に向けた支援を行ない、取得後は本人の意志を重視しながら職員が向上心を持って働ける環境作りに努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>外部研修の情報を提供し参加を促し、ミーティング時に研修報告する場を設けている。また、内部研修では職員が各自テーマを持ち事前学習後に発表をしてもい自己研鑽に励んでいる。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>谷山地区の勉強会への参加や法人内のグループホームへ訪問しネットワーク作りや交流を図り、良いところを取り入れサービスの質を向上できるよう取り組んでいる。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>面談の際、ご本人の要望や不安を把握するよう努め、信頼しあえる関係づくりに努めている。</p> | | |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>面談の際、ご家族からの要望や不安があった際はわかりやすく説明し安心して頂けるよう努めている。また、いつでも相談して頂ける関係づくりに努めている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>入居前の面談時、ご本人、ご家族が必要としていることを聞き、状態を把握しスタッフで話し合い行ない、ご本人に適切なケアが出来るように努めている。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>日々の生活の中で、掃除や食事の準備等、一緒に家事を協働し感謝の言葉を述べる場面作りを心がけている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族の面会時には日頃の様子を報告している。また病院受診時は、家族に付き添って頂き、情報の共有が図れるよう努めている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご本人、馴染みの方々の面会時は、ゆっくりと話が出来るとような雰囲気作りを心がけ馴染みの方との関係が途切れないよう支援に努めている。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 職員が入居者一人ひとりの性格、他入居者との関係性を把握し、円滑な関係が作れるよう座席等考慮している。必要に応じ職員が会話の橋渡しをすることで利用者同士が支え合い良好な関係が築けるよう支援している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後も面会やお見舞に行ったり、その後の相談にいつでも応じ支援できるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 本人の希望に添えるよう、日頃から良好な関係作りに心がけ、意向や思いを伝えやすい環境作りに努めている。また、伝えることが困難な方は表情や日常生活の様子からくみ取れるよう心がけている。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 今までの暮らしてきた環境に近づけるように、ご本人が使用してきた家具などを持ち込んで頂き、在宅での生活を忘れないよう努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | アセスメント等を通し、一人ひとりの状態や生活リズムを職員間で共有、把握し、その方にあった生活が送れるよう支援に努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 担当者会議やケアカンファの中でケアや現状について話し合いケアプラン作成につなげている。また、ご家族の面会時にご本人を含め、意見交換を行ないプラン作成に反映できるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 毎日、スタッフが入居者一人ひとりの状態を記録に残し、業務に入る前は必ず、記録を確認し情報を把握、共有することでケアや介護計画の見直しに活かせるよう努めている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 入居者の状態を常に把握し、ご家族や他医療機関と連携し、本人、家族の要望に添って柔軟な対応が出来るよう努めている。また必要があればご家族と話し合い、訪問マッサージやフットケア等も利用している。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の民生委員や長寿あんしん相談センターへ運営推進会議への参加を呼びかけ意見交換の場を設けている。また近隣の託児所の園児達との交流も行なっている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居前からのかかりつけ医があり、ご本人、ご家族が希望される場合はご家族の協力のもと継続できるよう支援している。またかかりつけ医と情報交換を重ねることでより良い医療受診が出来るよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | ホーム内の看護資格を有する職員を中心に入居者の健康管理を行なっている。協力医の看護師に相談し助言が受けられる関係作りが出来ている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時はスタッフが面会に行き状態把握に努めている。また病院関係者と情報交換を行ない早期退院につなげられるよう努めている。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化や終末期に向けた指針を作成しご家族に説明し現時点で可能なこと、不可能なことを明確にし同意を頂き理解してもらっている。常に職員間でも話し合いを重ねている。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 全ての職員が心肺蘇生訓練の講習を受けている。またミーティングの勉強会でも急変時の対応について取り上げ、理解し実践力を身につけることが出来るよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>年2回、消防訓練（昼間・夜間想定）を地域住民、入居者も参加し行なっている。避難所一覧を和室に貼り、職員がいつでも確認できるようにしている。また緊急連絡網にて近隣の職員がいつでも駆けつけられる体制作りができている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 日々の関わりの中から入居者の方々の性格を把握し、個々にあった言葉かけや対応を行えるよう心がけている。また、スタッフの言葉遣いでもスタッフ同士が注意しあえるようにしている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 入居者の方の話に傾聴し希望の表出が出来るよう働きかけている。また日頃からのコミュニケーションを重ねることで、その方の表情や行動、仕草から思いや希望を感じ取り自己決定が図れるよう努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者一人ひとりのペースに合わせ、その方の気持ちを尊重したケアが出来るよう心がけている。また要望等がある場合は希望に添えられるよう支援に努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 整容時は季節にあったもの、その方の好みをふまえ一緒に選べるよう支援している。また2ヶ月に一回、訪問美容室によるカットも行なっている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 好みの物や盛りつけや彩りの工夫をし食事が楽しめるよう心がけている。また、食事の盛りつけや、箸を配ったりテーブル拭きをお願いしたりと日常的に手伝ってもらっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎回の食事摂取量を記録しており、食事量の少ない方には好みに合わせた食事を提供している。主治医へ相談し栄養補助食品などの処方を受け栄養バランス、水分が確保できるよう支援している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 訪問歯科を受診されている方には主治医の指示による口腔ケアを行ない、できない部分は補助を行なっている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し時間毎や訴え時にトイレ案内を行ない、自らトイレを伝えられない方は、表情や行動からスタッフが判断し声かけ案内を行なっている。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 栄養バランスを考えたメニュー作りに取り組んでいる。また毎朝、牛乳・ヨーグルトを便通を良くするよう努めている。レクリエーションに歩行運動や起立運動を取り入れ便秘予防に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 入居者のその日、その時の気分や体調に合わせ、入浴への声かけを行っており、拒否がある際は無理強いせず時間を置くなどし本人のペースで入浴して頂けるよう心がけている。浴槽に入れられない方は足浴をし全身が温まるように配慮している。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 昨夜の入眠状況やその日の体調に応じた休息への声かけを行っている。また入床までの時間を大切にしてお茶を飲みながらテレビ視聴、談話を楽しまれゆっくりとした時間を過ごしてもらい安眠へつなげている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の文献をファイルにし職員全員が目を通し薬の目的や副作用を理解し状態変化には充分注意するよう努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 入居者一人ひとりの能力や得意なことを職員は把握し、その方にあつた仕事をお願いし、その都度、感謝の気持ちを伝えるようにしている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 季節の移り変わりを感じて頂けるよう外出や外食に出かけている。また、ご本人が希望されるときはご家族と相談し外出や外泊ができるよう支援に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>金銭管理はホームで行なっているが、個々に応じて、ご家族と相談し少額のお金を持って頂きご本人が安心できるよう努めている。また買い物時は、ご自分の財布から支払えるよう支援している。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>本人希望時は、ご家族へ電話し会話をすることで、ご家族との関係を大切にして頂き、安心した生活が送れるよう支援に努めている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>季節の花々や四季の飾り物を入居者の方と一緒に作り、ホール内に作品を飾っている。また馴染みのものを取り入れたり、使いやすい配置にし快適に過ごせるよう工夫している。</p> | | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>ご自分の部屋やホール自席にて一人の時間が過ごせるよう支援し、ホールにソファを置き気の合う方同士で、ゆっくりと会話ができるよう工夫している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自宅で暮らしていたときのタンスや使い慣れた品等を持って来て頂き、以前と変わらない空間作りをすることで、ご本人が安心して生活が送れるよう支援している。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 職員が入居者の状態の把握に努め物の配置に配慮し、トイレや自室の場所がわかりやすいように目印をつけ自立した生活が送れるよう支援に努めている。 | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |

| | | | |
|----|------------------------------------|---|---------------|
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |